

令和7年度 第1回学校評価アンケート結果(児童) 梨の里小学校

- ・すべての質問で8割以上の肯定的な回答が得られた。
- ・特に、9割以上の肯定的な回答が得られた項目は、
 - 「1. みんなと学ぶことは楽しい」(97.6%)
 - 「4. 学校のきまりをまもっている」(94.3%)
 - 「7. マイタブレットを使った授業は、勉強に役立っている」(92.5%)
 - 「9. こまわっているときに、気づいてくれたり、声をかけてくれたりする友達が学級にいる」(92.5%)
 - 「10. 友だちや学級のために行動している」(92.8%)
 - 「11. みんなで力を合わせて取り組んで、うれしかったことがある」(94.3%)
 - 「13. 先生はあなたの話を聞いてくれる」(94.0%)
 - 「14. 自分にはゆめや大きくなったらやってみたいことがある」(90.9%)
- ・昨年度の同時期(1回目)と比較し、ポイントが下がった項目は、
 - 「2. 登下校のとき、きちんと並んでいる」
 - 「3. 学校や登下校で地域の大人の人や先生、友達にあいさつをしている」
 - 「15. 家の人と学校のことをよく話す」の 3項目であった。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
1. みんなと学ぶことは楽しい。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	292	75.6	72.1	4.0	9割以上の児童が、肯定的な回答をしている。引き続き、児童との対話や関係職員との連携により、個々の困り感やつまずき等を具体的に把握しながら、多様な仲間と学ぶ意味・価値が感じられる楽しい授業づくりに努める。
すこしあてはまる	85	22.0	21.6		
あまりあてはまらない	8	2.1	4.1		
あてはまらない	1	0.3	2.3	-4.0	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
2. 登下校のとき、きちんと並んでいる。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	170	44.0	47.2	-0.8	安全安心プロジェクトの方から、登下校において心配な声をいただいている。自分の命は自分で守る行動のできる児童を、学校と家庭が連携して育てていく必要がある。
すこしあてはまる	166	43.0	40.6		
あまりあてはまらない	36	9.3	10.7		
あてはまらない	14	3.6	1.5	0.8	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
3. 学校や登下校で、地域の大人の人や先生、友達にあいさつをしている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	245	63.5	63.2	-1.7	あいさつは、良好な人間関係を形成するために身につけさせたい習慣である。家庭教育を基盤とし、学校・地域が一体となって誰に対しても気持ちの良いあいさつのできる児童を育てていくことが必要である。
すこしあてはまる	99	25.6	27.7		
あまりあてはまらない	36	9.3	7.9		
あてはまらない	6	1.6	1.3	1.7	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
4. 学校のきまりを まもっている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	228	59.1	57.1	0.6	9割以上の児童がきまりを守ろうとする意識を持っている。今後も道德教育を推進したり、よい行いを全体に広げたり、家庭と情報共有しなしながら、社会のルールを守る規範意識の高い児童を育てていきたい。
すこしあてはまる	136	35.2	36.5		
あまりあてはまらない	19	4.9	5.1		
あてはまらない	3	0.8	1.3	-0.6	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
5. 早ね早おきや手あらいなどきちんとできている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	200	51.8	47.7	0.0	すこやか週間での取り組みの工夫や家庭との連携により、正しい知識と判断力や実践力を身に付け、生涯にわたって健康行動がとれる児童を育成していきたい。
すこしあてはまる	129	33.4	37.6		
あまりあてはまらない	51	13.2	12.7		
あてはまらない	6	1.6	2.0	0.0	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
6. 授業はわかりやすく楽しい。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	220	57.0	53.0	4.3	児童の疑問や困り感を大切に、個々の考えを生かした学び合いのある授業づくりについて研究を進めることで、児童が自身の成長や学ぶ喜びを感じられるようにしたい。
すこしあてはまる	117	30.3	29.9		
あまりあてはまらない	38	9.8	13.5		
あてはまらない	11	2.8	3.6	-4.3	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
7. マイタブレットを使った授業は、わかりやすく、勉強に役立っている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	247	64.0	66.0	2.1	9割以上の児童がマイタブレットの有効性について実感している。学校では日常的にマイタブレットを活用した授業が展開されてきている。学びが深まったと実感できるよう、効果的な活用について研究を進めていきたい。
すこしあてはまる	110	28.5	24.4		
あまりあてはまらない	25	6.5	7.6		
あてはまらない	4	1.0	2.0	-2.1	

8. じゅぎょううちゅう、ともだちの はなしをきいたり、ともだちと はなしあったりすることで、もつとよいかんがえが うかぶことがある。(低学年)	昨年第1回	比較増減	結果・考察
学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、考えを広げたりすることができている。(中学年・高学年)			
あてはまる	203	52.6	50.0
すこしあてはまる	140	36.3	34.0
あまりあてはまらない	33	8.5	13.7
あてはまらない	10	2.6	2.3
		4.8	
		-4.8	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、仲間との「つながり」を意識した授業づくりを行っている。学び合う学級風土の醸成と、深い学びに導く発問や板書の工夫、ICTの効果的な活用等の研究を進めていきたい。

9. こまっているときに、気づいてくれたり、声をかけてくれたりする友達が学級にいる。	昨年第1回	比較増減	結果・考察
(人) (%) (%) (P)			
あてはまる	274	71.0	64.5
すこしあてはまる	83	21.5	26.9
あまりあてはまらない	18	4.7	6.1
あてはまらない	11	2.8	2.5
		1.1	
		-1.1	9割以上の肯定的回答が得られた。担任は日々の言動や記述物等から児童理解に努めている。いじめアンケートやQJ検査等の結果も参考にして、個々の置かれた状況等を的確に見取り、必要な支援策を考えていきたい。

10. 友だちや学級のために行動している。	昨年第1回	比較増減	結果・考察
(人) (%) (%) (P)			
あてはまる	230	59.6	55.3
すこしあてはまる	128	33.2	34.3
あまりあてはまらない	25	6.5	8.6
あてはまらない	3	0.8	1.8
		3.2	
		-3.2	9割以上の肯定的回答が得られた。各学級では、個々の活躍の場を用意したり、帰りの会や授業等で頑張りを賞賛する場を設けたりしており、そうした実践も結果につながっている。考える。良い取り組みは今後も継続していく。

11. みんなで力を合わせて取り組んで、うれしかったことがある。	昨年第1回	比較増減	結果・考察
(人) (%) (%) (P)			
あてはまる	282	73.1	68.5
すこしあてはまる	82	21.2	22.8
あまりあてはまらない	12	3.1	5.3
あてはまらない	10	2.6	3.3
		2.9	
		-2.9	9割以上の肯定的回答が得られた。日々の授業や学校生活を通して学級への所属感を味わう経験を重ね、学校行事を通して団結力を育てることで、仲間と協力して成し得た喜びをより多く実感できるようにしたい。

12. 自分にはよいところがある。	昨年第1回	比較増減	結果・考察
(人) (%) (%) (P)			
あてはまる	226	58.5	53.0
すこしあてはまる	113	29.3	29.9
あまりあてはまらない	35	9.1	9.9
あてはまらない	12	3.1	7.1
		4.8	
		-4.8	個々の頑張りをしっかりと言葉で伝え、自分のよさを自覚できるような働きかけをしていく。一人一人の発するプラスの言動に着目するよう努め、家庭と連携して励まし続けることで、個々のもつ良さを伸ばしていきたい。

13. 先生は、あなたの話を聞いてくれる。	昨年第1回	比較増減	結果・考察
(人) (%) (%) (P)			
あてはまる	275	71.2	
すこしあてはまる	88	22.8	
あまりあてはまらない	17	4.4	
あてはまらない	6	1.6	
			【新項目】9割以上の肯定的回答が得られた。児童にとって、最後まで話を聞いてくれる教師の存在は、学校生活に安心感を与える。教師が傾聴の姿勢を大切にすることで、個々との信頼関係の構築を図っていきたい。

14. 自分には、ゆめや大きくなったらやりたいことがある。	昨年第1回	比較増減	結果・考察
(人) (%) (%) (P)			
あてはまる	290	75.1	74.1
すこしあてはまる	61	15.8	12.4
あまりあてはまらない	23	6.0	8.1
あてはまらない	12	3.1	5.3
		4.4	
		-4.4	9割以上の肯定的回答が得られた。学校では、様々な大人との出会いや体験、「自分のよさ」を自覚できる場をたくさん提供していくことで、将来の自分像を描く手助けをしていきたい。

15. 家の人と学校のことをよく話す。	昨年第1回	比較増減	結果・考察
(人) (%) (%) (P)			
あてはまる	234	60.6	64.2
すこしあてはまる	89	23.1	20.6
あまりあてはまらない	44	11.4	9.9
あてはまらない	19	4.9	5.3
		-1.1	
		1.1	1日の大半を学校で過ごす児童は、たくさんの思いを家庭に持ち帰る。家庭では、心身の健康状態の把握や愛着形成のためにも、「後でね」ではなく、「聞いてほしいとき」に手を止め耳を傾けることを引き続きお願いしたい。

令和7年度 第1回学校評価アンケート結果(保護者) 梨の里小学校

・肯定的な回答が8割以上あった項目は、10項目。中でも、9割以上の肯定的な回答が得られた項目は、以下の通り。

1. お子さんは、元気に学校に通っている (97.2%)
2. お子さんは家庭であいさつができています (96.3%)
9. お子さんは、困ったことや心配なことがあれば家族に相談する。(92.0%)
11. 学校は、校内の環境整備に努めている。(90.9%)
13. 学校は、保護者や地域への情報発信に努めている (94.9%)

・肯定的な回答が半数に満たなかった項目は、以下の通り。

5. お子さんは、家で、iPadを使って自主的に学習に取り組んでいる (24.8%)
7. お子さんは、毎日、家で本を読む習慣が身に付いている (37.9%)

	(人)	(%)	(%)	(P)	
1. お子さんは、元気に学校に通っている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	296	84.3	79.1	1.3	9割を超える保護者がお子さんは元気に学校に通っているととらえている。2学期以降も、明日が楽しみになる学校・学級づくりに努めていくとともに、一人一人の様子の変化の把握に努めていく。
ややあてはまる	45	12.8	16.7		
あまりあてはまらない	9	2.6	3.3	-1.3	
あてはまらない	1	0.3	0.8		
わからない	0	0.0	0.0	0.0	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
2. お子さんは、家庭であいさつができています。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	240	68.4	58.8	2.5	9割を超える家庭で、「あいさつ」を大切にしていることが分かる。社会性を身につける上で基本となる「あいさつ」は、家庭教育を基盤に、学校、地域が一体となって、誰に対しても気持ちの良いあいさつができるよう育てていきたい。
ややあてはまる	98	27.9	35.0		
あまりあてはまらない	11	3.1	5.8	-2.5	
あてはまらない	2	0.6	0.4		
わからない	0	0.0	0.0	0.0	

		(人)	(%)	(%)	(P)	
3. お子さんは、早寝早起きや手洗い等の基本的生活習慣が身に付いている。				昨年第1回	比較増減	結果・考察
	あてはまる	152	43.2	43.8	1.9	家庭での基本的な生活習慣については、肯定的な回答の割合が昨年度の同時期より上がった。生涯に渡って健康生活が送れるよう、家庭と連携して基本的な生活習慣の確立に取り組んでいく。
	ややあてはまる	154	43.8	41.3		
	あまりあてはまらない	34	9.7	11.7	-1.9	
	あてはまらない	12	3.4	3.3		
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	

		(人)	(%)	(%)	(P)	
4. お子さんは、学校の授業はわかりやすく楽しいと言っている。				昨年第1回	比較増減	結果・考察
	あてはまる	138	39.4	44.4	-0.7	同じ質問に対して、児童の肯定的回答の割合は9割弱であったが、保護者の肯定的な認識はそれより低い。保護者の方にも安心していただけるよう、「できた」「わかった」を実感できる授業、意欲を引き出す授業を行って、「今日の勉強楽しかったよ」と話したくなるような授業を目指していく。
	ややあてはまる	145	41.4	37.2		
	あまりあてはまらない	39	11.1	11.7	-1.6	
	あてはまらない	11	3.1	4.2		
	わからない	17	4.9	2.5		

		(人)	(%)	(%)	(P)	
5. お子さんは、家で、Myタブレットを使って自主的に学習に取り組んでいる。				昨年第1回	比較増減	結果・考察
	あてはまる	27	7.7	7.5	-3.1	Myタブレットについて、家庭でのルール化に難しさを抱えている家庭が多い現状がある。家庭学習に有効活用している例として、プログラミング学習や、プレゼン作成、調べ学習に取り組んでいる家庭もあるようである。
	ややあてはまる	60	17.1	20.4		
	あまりあてはまらない	118	33.7	38.8	3.0	
	あてはまらない	142	40.6	32.5		
	わからない	3	0.9	0.8	0.0	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
6. お子さんと、テレビやゲーム、iPad、携帯電話等の使い方について話し合ったり、ルールを作ったりしている。	昨年第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	142	40.5	39.3		
ややあてはまる	168	47.9	45.6	3.4	
あまりあてはまらない	26	7.4	11.3	-3.7	
あてはまらない	14	4.0	3.8		
わからない	1	0.3	0.0	0.3	メディアやSNSとの付き合い方や情報モラル等、親子で話し合っている家庭が増えている。自分の生活と心身の安全・健康を守るためにどのように付き合っていくとよいか、引き続き各家庭で話題にしていきたい。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
7. お子さんは、毎日、家で本を読む習慣が身に付いている。	昨年第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	53	15.1	20.5	-7.7	
ややあてはまる	80	22.8	25.1		
あまりあてはまらない	83	23.6	22.2	7.8	
あてはまらない	134	38.2	31.8		
わからない	1	0.3	0.4	-0.1	読書習慣が身に付いている児童と、そうでない児童の割合は半々である。読書活動を通して、読解力、想像力、表現力、感性などを養うことができるため、低学年の頃から親子で読書に親しむ習慣を確立できるとよい。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
8. お子さんと、将来の夢や、やってみたいことについて話をしている。	昨年第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	104	29.9	30.5	-4.7	
ややあてはまる	155	44.5	48.5		
あまりあてはまらない	53	15.2	15.1	3.8	
あてはまらない	33	9.5	5.9		
わからない	3	0.9	0.0	0.9	親子で夢や、やってみたいことについて話をする中で、自分の未来を見つめることができる。発達段階によっては、具体的な夢等をイメージできない児童もいるが、そうした状態もそのまま受け止め、未来への期待や前向きに生きる力を与えたい。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
9. お子さんは、困ったことや心配なことがあれば家族に相談する。	昨年第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	183	52.1	50.4	-0.5	
ややあてはまる	140	39.9	42.1		
あまりあてはまらない	18	5.1	6.3	-0.5	
あてはまらない	5	1.4	0.8		
わからない	5	1.4	0.4	1.0	9割以上の家庭で、お子さんのSOSをキャッチできていることが分かる。個々の困り感や、危機的な状況を察知するためにも、良好な親子関係、良好な学校と家庭の関係を築き、双方で見守っていく。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
10. 学校は、困ったことや心配なことがあると丁寧に対応してくれる。	昨年第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	213	60.7	61.5	-0.2	
ややあてはまる	99	28.2	27.6		
あまりあてはまらない	9	2.6	2.1	0.9	
あてはまらない	3	0.9	0.4		
わからない	27	7.7	8.4	-0.7	「わからない」の割合が他の項目に比べて高いことから、この時期、学校に相談する事柄がない家庭もあるようである。心配なことがあったら事が小さいうちに相談していただけたらと思う。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
11. 学校は、校内の環境整備に努めている。	昨年第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	240	68.4	62.1	-0.8	
ややあてはまる	79	22.5	29.6		
あまりあてはまらない	5	1.4	1.7	0.0	
あてはまらない	1	0.3	0.0		
わからない	26	7.4	6.7	0.7	9割を超える肯定的な回答が得られた。本校のゆとりある環境を上手に整備・活用しながら、児童の安全・安心や、落ち着いた生活、心の成長等につなげていけるようにしたい。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
12. 学校は、交通安全、防災、防犯、アレルギー対応等、校内外での子どもたちの安全確保に努めている。	昨年第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	271	77.2	81.2	-2.5	
ややあてはまる	36	10.3	8.8		
あまりあてはまらない	28	8.0	7.9	0.3	
あてはまらない	1	0.3	0.0		
わからない	15	4.3	2.1	2.2	「行ってきます」と出かけた子が、笑顔で「ただいま」と帰ることができるよう、安全点検やダブルチェック等による未然防止、事故等の発生時に備えた体制づくりや訓練など、安全確保に努めていく。また、児童一人一人の安全意識の向上にも努めていく。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
13. 学校は、保護者や地域への情報発信に努めている。	昨年第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	250	71.0	74.9	-1.3	
ややあてはまる	84	23.9	21.3		
あまりあてはまらない	4	1.1	0.8	0.4	
あてはまらない	2	0.6	0.4		
わからない	12	3.4	2.5	0.9	9割を超える肯定的な回答が得られた。学習に関わる連絡事項の伝達や、けがやトラブルに関することは正しく迅速に心掛け、丁寧に伝えていく。また、地域へも積極的に情報発信することで、たくさんの目で児童の成長を見守っていけるようにしたい。